



## 「看護の日」を知っていますか？

1965年、ICN（国際看護師協会：International Council of Nurses）は、近代看護を築いたフローレンス・ナイチンゲールの誕生日である5月12日を「国際看護師の日」と定め、年毎のテーマを決めて活動しています。日本では市民や有識者による「看護の日の制定を願う会」の運動をきっかけとして、旧厚生省により1990年「看護の日」が制定されました。又前後あわせて一週間を「看護週間」としています。今年度は『看護の心をみんなの心に』をメインテーマとし、各地域でイベントが行われました。当院でも看護師を中心にイベントを行いました。今回はその内容をご紹介します。

### ふれあい看護体験

一日看護師として、病棟で看護の体験をしてもらいました。9名の方が体験してくださいました。

### 呈茶会の開催

当院では恒例となりつつある呈茶会を行いました。今回も当院ボランティア「四つ葉のクローバー」の方に協力していただき、250名の方が参加してくださいました。

### 健康相談会の開催

アピタ（東海通店）において健康相談会を開催しました。生活習慣や介護について、約100名の方の相談を受けることができました。

## 看護の心をみんなの心に

### 写真の展示

WOC認定看護師・呼吸療法士 糖尿病療法指導士の活動紹介。医療事故対策の取り組み紹介等写真パネルを作成し、ギャラリーに展示しました。

### メッセージカード配布

各セクションの看護師が心を込めてカードにメッセージを記入し、入院患者さんにお渡ししました。

★中部労災病院のホームページで、〈病院の情報〉〈フィリア・レター〉〈ろうさい病院つうしん〉をご覧ください。携帯電話からもアクセスできます。どうぞ、ご利用ください。